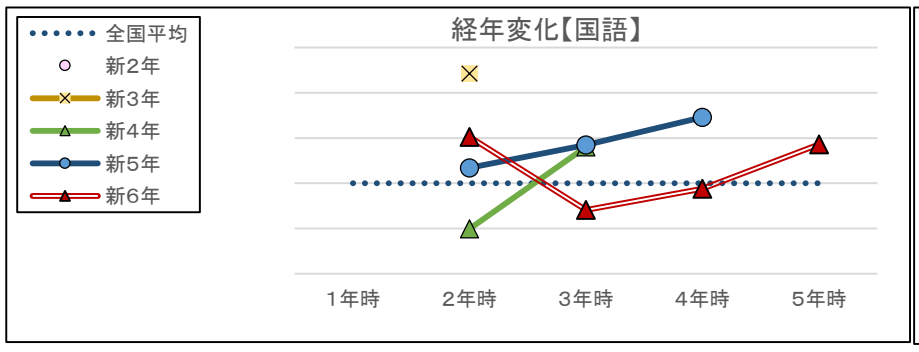
令和７年度	釧路市立清明小学校　　学力向上プラン

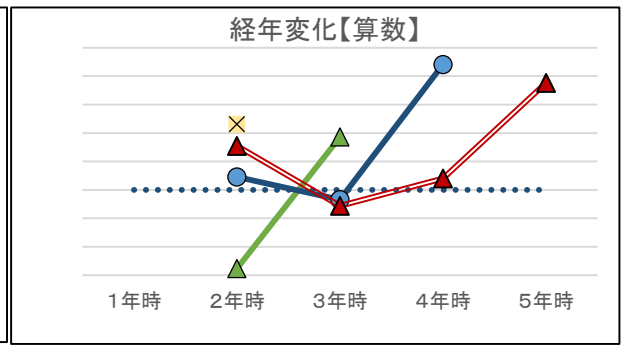
公表用
2025/4月 発行

Ⅰ　前年度の各種調査から見られる学校の状況

① 各学年の標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）

※釧路市では、３～６年生を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に●年生においても実施しています。





② 学校の状況

本校では､昨年度、釧路市標準学力調査を「本校の学力向上の取組を検証する場」として、1年間｢学力向上に関する取組｣を進めてきた。具体的な目標として｢全国の正答率に全学年・全教科で-3%に近づけること｣｢同一集団での経年変化で昨年度よりも正答率を上げること｣の2点を掲げ、全教職員で取り組み、目標を達成することが出来た。

国語においては、以前は問題文から必要な情報を抜き出し自分の考えを交えて記述するような問題に苦手意識が見られたが、そのような記述問題に対して、どの学年も正答率が上がっているだけでなく無回答率が低くなっている。算数においては、どの学年の領域でも正答率が高い結果となったものの、評定を見ると、「１」となる児童が一定数いる。児童が自身の学び中でわからない部分をそのままにせず、一つ一つ解決していけるように、個に応じた丁寧な対応が必要であると考える。

本校で実施している｢元気アップシート｣の取組の結果から、平日に、早寝早起きなど規則正しい生活を送っている児童は全体の７割ほどになっているが、高学年を中心に就寝時刻が11時を過ぎている児童が一定数見られる。また、携帯ゲームやメディアの使用時間については、中学年から伸び始めており、平日でも6年生で2割、5年生で4割の人が、1週間で14時間以上メディアを使用していることがわかった。 規則正しい生活とメディアの活用方法に関するルールについては今後も保護者に呼びかけていく。

Ⅱ　今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
・授業の中に、自分で課題や学習方法を選択して、見通しをしっかりもって学習が進めることの出来るような機会を設定していく。また、自分で課題を立てることが困難な児童には、教師が積極的に関わり、自己決定して学習を進める機会を意図的に作っていく。 ・本校の研修課題｢自立した学習者を目指す授業づくり｣とリンクさせて、1人一授業の授業研を進め、教員の授業力指導力の向上を図っていく。 ・ICT推進チームによる、情報収集や実践資料作成などの研修にさらに努め、授業での効果的な活用を図る。	・全国学調、チャレンジテストの結果をその都度、分析をして学年や学級の課題を明確にすると共にPDCAサイクルに則り、現状の課題解決を進めながら取り組んでいけるようにする。 ・L-Gateを活用した｢心の健康調査｣やQUアセスを使用して、児童の気持ちにより添って、問題が大きくなる前に面談や、個人への指導、場合によっては全体指導へと繋げていくことにより、安心して学習できる集団を育てていく。 ・青陵地区四校で共通して取り組んでいる｢パワーアップ週間｣の中に、補充問題に取り組む機会を設定し、進んで苦手を克服しようとする風土づくりを目指す。 ・パワーアップ週間の中で行う｢読書週間｣や｢NIE活動｣において、活字を通して様々な事象に触れたり、読んだ感想や考えなどを｢書く活動｣も取り入れていく。	・自立した学習者の育成に向けて、家庭学習を｢宿題＋α｣と全校で統一しておさえ、児童が家庭で学習する習慣を身につけていけるように指導していく。あわせて家庭にも協力をお願いしていく。 ・学習規律の中でも授業に向かう前段階として、ノートやプリントの文字を丁寧に書く指導を行っていく。最初は自分の名前を丁寧に書く指導から始める。 ・検定週間の取組を通して基礎計算能力の定着を目指していく。 ・放課後学習の取組は、算数の学習を中心に月毎に本校の課題となる部分に絞って設定していくようにする。 ・タブレットドリルやマイアセス等を積極的に活用し、基礎基本の定着につながるよう環境整備に努める。

② 各学年の指導の重点

１年生の重点	４年生の重点
【全】**学習規律の徹底**	【全】**自分の考えをまとめる力の育成**
【国】言語の基礎学力の定着 →｢ひらかな｣｢漢字｣の学習で、日常的に使う言葉や知っている言葉を発表し語彙を増やす。 →朝学習や宿題で繰り返し練習する。 【国】助詞を正しく表記する学習 →カードを使ったり、｢言葉と言葉のサンドイッチの具｣等で伝えたりして、助詞の使い方のイメージをしやすくする。 →朝学習や宿題で繰り返し練習する。 【算】計算の基礎学力の定着 →朝学習や宿題でプリントを使って｢足し算｣｢引き算｣の問題に取り組み、定着を目指す。 →朝学習や宿題で繰り返し練習する。 【算】10までの数の分解合成、繰り下がり、繰り上がりの定着 →朝学習や授業内で、ブロックなどの具体物を使って、10の分解合成に取り組み定着を目指す。 →朝学習や宿題で繰り返し練習する。	【国】自分の考えをまとめる力の育成 →自分の思いや考えを書き、日常的に交流する場を設定する。 【国】同音異義語の書き取り →日常的に問題に取り組む。 【算】四則計算の定着 →日常的に取り組む。（マス計算、かけ算九九などの検定） →見直し、間違い直しをしっかりと行う。 【算】思考力・判断力・表現力を向上させる →自分や友達の考えを説明する場を確保する。
２年生の重点	**５年生の重点**
【全】**学習規律の徹底**	【全】**問題を正しく把握し、見方・考え方を働かせて取り組む力の育成**
【国】言語の基礎学力の定着 →漢字ミニテストの実施を通して、家庭学習で繰り返し練習をして習得を目指す。 →朝学習や宿題で繰り返し練習する。 【国】書く力を高める学習 →授業や朝学習で、振り返り、ワークシートを書く活動を通して、自分の思いをまとめ、表現する力を高める。 →朝学習や宿題で繰り返し練習する。 【算】計算の基礎学力の定着 →朝学習、ミニテストの継続。 →宿題やプリントの間違い直しの継続。 【算】文章題に慣れることができる。 →文章題のキーワードを探す練習を継続する。 →文章題の読み取り問題を宿題等で継続して取り組ませる。	【国】読んだり聞いたりしたことを、要約する・要旨をまとめる力 →文章や話から要点を見つけるために、日常生活の中から機会をつくる。 【国】既習漢字の定着 →期日を決めて、漢字ドリルを計画的に進める。 →毎週10問程度のミニテストを実施し、定着をはかる。 【算】四則計算の定着（筆算まで） →単元に関係なく、授業の最初や宿題等を用いて、年間を通して実施していく。 【算】アウトプットする力 →発表や交流、振り返りなどで自分の考えを発表する機会を充実させる。
３年生の重点	**６年生の重点**
【全】**自分の考えを文に書く活動**	【全】**基礎学力の強化と目的に応じて活用する力の向上**
【国】漢字の定着 →漢字のミニテスト、ドリル、タブレットドリル、宿題に取り組む。 →習った漢字を使って文章を書くことを意識づける。 【国】話し合い活動において、話の内容を正確に把握して自分の考えをもつ。 →質問や意見を述べたり書いたりする。 【算】基礎計算技能の徹底 →朝学習や宿題、計算検定、タブレットドリルなどで計算力を高める。 【算】量感を伴った測定活動とその結果をまとめる活動 →課題解決の方法をまとめ、順序立てて説明する活動の充実を図る。	【国】漢字の読み書き、言葉についての理解・定着 →漢字の反復学習と個に応じたフィードバック →音読についての継続的指導 【国】読解力と表現力の向上 →読解と表現を対とした系統的・計画的な読解指導 【算】小数や分数をはじめとした計算力の向上 →計算問題の反復学習と個に応じたフィードバック 【算】自分の考えの論理的な説明力の向上 →図や式を用いて伝えるとともに、それらから読み取った考えを伝える機会の設定